

桜田御殿

藤原姓

高百俵

青山

家紋

丸ノ内蔦

青山修理進後胤青山修理亮忠重  
嫡男

忠元

青山伊賀守

越前国丸岡之城主其後高野山に引籠  
死

忠高

青山右近亮

始関白秀次に仕秀次生害後大津宰  
相に預られ

東照宮御代になり御構なく山城国伏見  
浪人にて元和八<sub>戌</sub>年死

高元

青山瀬兵衛

清揚院殿へ嶋田出雲守願により寛文  
元<sub>丑</sub>年甲府御城代与力○延宝九<sub>酉</sub>年  
二月死甲州妙本寺葬

忠倫

青山瀬兵衛

延宝九<sub>酉</sub>年父跡へ召出され御城代与力  
○延宝九<sub>酉</sub>年閏四月小普請入○同年  
八月西丸山里与力○宝永五<sub>子</sub>年御本  
丸にて西丸山里与力○同六<sub>丑</sub>年十月  
法心院殿広敷添番○病免○同八<sub>卯</sub>  
年五月致仕○元文元<sub>辰</sub>年十月  
死麻布妙経寺葬

以下略